

故人の蔵書を再利用する

「白梅会」設立構想

2017年11月27日

情報総合研究所

柳下 和夫

Copyright © 2017 Kazuo Yanagishita

# はじめに

- 最近の情報のデジタル化は非常に便利である。
- 知らないことはインターネットで何でも分かる。
- それは誤解である。
- たとえばウィキペディアの信頼できる記事には必ず出典が記載されている。
- ウキペディアの支援者が情報源の書物を読んで記事を書いているのである。
- その貴重な情報源を大事にしようではないか。

# 発想のヒント

- 大病を患って手術によって一命を取り留めた人も多い。
- 医学の進歩に役立ちたいので私の遺体を解剖の教材に使って下さいおいう奇特な人がいる。
- その人たちの集まりが「白菊会」である。

# 白菊会

白菊会とは、[医学](#)および[歯学](#)の発展のため、死後に自

””” ~%ooï

なお、白菊会は各大学の医・歯学部、また自治体に支

ウィキペディア

# 図書館

- 紙や印刷術が発明されるまでは、板や羊皮紙に原典を手写しするしかなく、本は貴重な文化財だった。
- そのため本を個人の蔵書にせず、図書館に集めて多くの人を読めるようになった。

# カーネギー図書館

アンドリュー・カーネギー(1835-1919)はアメリカの鉄鋼王として巨万の富を築き、後年は慈善家としてその富を寄付した。ニューヨークのカーネギー・ホール、ピッツバーグのカーネギ・メロン大学の他に2,509のカーネギー図書館を作った。そのうち、1,689がアメリカに、660がイギリスまたはアイルランドに、125がカナダにある。その他オーストラリア、ニュージーランド、セルビアなどにもある。

# 日本の個人図書館

日本の個人図書館は市民が本を読みに行く場所ではなく、小説家の遺品や資料を保存し公開し、小説家の顕彰を目的にしている。来館者の多くはその小説家のファンや観光客である。

いくつかの例を示すと

芦屋市谷崎潤一郎記念館、石川啄木記念館、  
石坂洋二郎記念館、川端康成記念館、司馬遼太郎記念館  
西田幾多郎記念哲学館、林芙美子記念館、松本清張記念館、

# 大宅壮一文庫

- ・公益財団法人大宅壮一文庫（非公立図書館）
- ・東京都世田谷区に本館、埼玉県越生町に分館。
- ・大宅壮一の収集した雑誌1万種類78万冊と書物7万冊。
- ・職員34名が手作りの検索キーワードがユニークで記事を探しやすい。
- ・利用者は年間10万人。その9割はジャーナリスト。
- ・これを白梅会文庫の参考にしたい。



# 大宅壮一文庫

- 公益財団法人大宅壮一文庫（非公立図書館）
- 東京都世田谷区に本館、埼玉県越生町に分館。
- 大宅壮一の収集した雑誌1万種類78万冊と書物7万冊。
- 職員34名が手作りの検索キーワードがユニークで記事を探しやすい。
- 利用者は年間10万人。その9割はジャーナリスト。
- これを白梅会文庫の参考にしたい。

# 浮世絵の悲劇

- ・日本では浮世絵は芸術扱いされず、ふすまの裏地に使われたりした。アメリカ人が浮世絵を収集しボストン美術館に一大コレクションを作った。
- ・時々日本で「里帰り浮世絵展」を開いている。
- ・日本人の浮世絵研究者はボストンに調査に行かなければならない。
- ・これはピラミッドの考古品が大英博物館にあるのと同じである。
- ・日本の書物も大事にしなければならない。

# 蔵書家

・~~栄誉教授~~ 学者、研究者、作家、ジャーナリスト、

ノンフィクション作家、ルポライター、エッセイスト、

評論家、収集家、読書家、マニア

丸善、旭屋、ジュンク堂、有隣堂などの重要顧客リス

# 蔵書家が亡くなると

資金があれば自分の名前入り図書館をつくる。(大宅壮一文庫)

大学教授は大学の図書館に寄贈する。(同じ本がすでにある)

大学教授は後任教授や教え子に譲る。(家が狭いので一部分)

公共図書館に寄贈する。(古い本は拒否される)

神田神保町の専門古書店に売る。(地方の遺族には難しい)

ブックオフに売る。(二束三文で安い)

ネットの専門古書店に売る。(遺族には難しい)

産業廃棄物として処分される。(廃棄料を請求される)

# 白梅会の活動(1)

蔵書家が亡くなるとその家族から白梅会に連絡があり、

白梅会が蔵書を引き取りに行く。

引き取った蔵書を白梅会の書庫に収納する。

書庫は日本各地の廃校や廃トンネルを利用して作る。

# 廃校

- 文部科学省のホームページでは、公立学校は少子化の影響で過去10年間に約2,000校が廃校になった、とある。
- 廃校は過疎地ばかりでなく、東京都内でも都市化が進み、住宅街がビル街になり児童がいなくなって廃校になったところも多い。

# 廃トンネル

- ・国土交通省のホームページには廃トンネル数は出ていない。道路の廃トンネルと鉄道の廃トンネルの他に、元鉱山の廃坑やら戦時中の防空壕など、直径の大小、長さの長短で、多数あるものと思われる。
- ・廃トンネルの持ち主は誰なのか。
- ・現在使われている道路のトンネルの寿命は60年だそうだが、60年経つと廃トンネルになるのか、補強して寿命を延ばすのか不明。
- ・本に湿気は有害なので、廃トンネル内の換気をよくするとか、漏水があれば、ビニールハウスをトンネル内に建てる必要がある。

## 白梅会の活動(2)

- ・引き取った蔵書を和書は日本十進分類法(NDC)に従って本棚に配架する。
- ・各書庫で蔵書のデータベースを作る。
- ・それをネット上で公開し、利用者が検索できるようにする。
- ・書庫に来た利用者に関覧できるようにする。
- ・貸出もする。
- ・コピーも著作権に触れない範囲で可能とする。
- ・遠各地の利用者には宅配便での貸し出しもする。

・遠各地の利用者には宅配便での貸し出しもする。



## 白梅会の活動(3)

- 利用者が長期滞在できるように、図書室や宿泊施設を作る。
- 過疎地に雇用を生む。
- 地方創生に資する。
- 日本は災害が多い国なので、国立国会図書館への一極集中を避けて、書物の全滅を防止する。

# 書庫の運営費

- ・廃校や廃坑は無料または低価格で払い下げてもらう。または借用する。
- ・本棚や備品は学校の廃品を最大限活用し、新品の購入は最小限にする。
- ・職員は年金生活者の活用などでできるだけ安くする。場合によっては利用者のアルバイトを活用する。
- ・地方創生基金を獲得する。
- ・企業に書庫の命名権を販売する、(例：沖縄岩波書店書庫)。
- ・ふるさと納税を利用する。

# あとがき

・今回は白梅会の構想を発表したが、もしご興味がある方がいれば、具体化の相談をしたいと思います。

・ご連絡をお願いします。

・柳下 和夫

・.info@22ca.org